

今回は1年生の課題解決型研究について、今後の予定をお知らせします。

◇ 1年 課題解決型研究テーマ『企業と考えるSDGs』

1年生の今年度の研究テーマは、『企業と考えるSDGs』です。企業と協力して、地域でSDGsを実現することを目指して研究を進めます。課題発見の方法として、オンラインで企業と交流することを通して、企業の課題をヒアリングします。その後、地元行政の課題との関連性を考慮した上で、解決策を提案していきたいと考えています。

コロナウイルス感染拡大の影響による休業期間が続いたことで、課題解決型研究の開始も遅れており、また、例年通りのフィールドワーク実施も難しい状況です。それを踏まえて、今後の課題解決型研究を次のように進めていきます。

◇ 研究の進め方

例年行っているフィールドワークは、企業とのオンラインセミナーに代替します。これに向けて、夏休み前のFRH活動の時間には、ご協力いただける関市内の企業についてインターネットを活用した調査を行います。主な調査内容は、企業がどのようにSDGsに取り組んでいるかです。

オンラインセミナーは、例年実施しているフィールドワークと同様に、夏休み期間に実施します。オンラインセミナーを通して、地域におけるSDGs実現への課題を見つけ、夏休み明けからは課題解決型研究の個人活動を進めます。今年度は個人でのレポート作成を行います。その後レポートをもとにして、ポスター発表のためのポスター作成を行います。

◇ オンラインセミナー実施の意義

今年度は三密を避ける意図から、グループでの研究活動や、校外でのフィールドワーク活動が実施できません。しかし本校では、個人研究においても協働性を考慮した活動ができないか探ってきました。その具体策のひとつとして、企業とのオンラインセミナーを実施します。企業と生徒、また生徒同士が、オンライン上で交流をはかることを通して、社会貢献とビジネスを両立しながら、企業活動を通して地域でSDGsを実現するための現実的な解決策について検討します。

地元関市の企業とのオンラインセミナーを開催するにあたり、せき・まちづくりNPOぶうめらんや、一般社団法人 関青年会議所(JC)にご協力をいただいています。また、研究を進めていく過程では、行政の視点からのアドバイスをいただくために、関市役所市民協働課にもご協力をいただく予定です。これにより、高校生、NPO、企業、行政という多様な視点から、関市におけるSDGsの実現に焦点を当てて探究活動を進めていきます。

◇ FRH発表会に向けて

3月に行なうFRH発表会は、生徒の研究成果を多くの方々に共有していただく場として好評をいただいています。今年度の実施については、探究活動の過程と同様に三密を避けることが求められます。例年通りの形式での実施が難しいと判断された場合に備えて、ウェブ上でのポスター発表やオンラインでの発表会を検討しています。